16 de Setembro de 1921 No. 206

Noticias do Brazil

大正十年九月十六日　金曜日　第二百六號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ..... 15$000
„ Semestre ..... 8$000
„ Mez ..... 1$500
„ Semana $500

公共團體

藤田總領事と多羅間副領事とが相前後して地方巡廻、在留邦人に自治の必要を說かれたる爲めか、近頃は彼方此方に公共團體の起り懸けて來たのは、同胞發展上洵に喜ばしき事である、改めて云ふまでもなく、人の集つて一村を形成し、一植民地を樹立する以上は、其處に全體の祝福と榮光とを得るの道を講せねばならぬ所から、地方在住の我同胞も此の必要に驅られて、段々公共團體の組織を事實に現はす樣になつたのであらうが、夫にしても先に立つ者は指導者であるから、指導者に適當な人を得た處より、團體を起す樣になつて來るやうである。

但し茲に注意せねばならぬ事は、團體は組織し易いが成績を擧ぐるの甚だ困難なる事是れである、兎角團體を組織して之を世話する主腦者は、自己の正義觀念を基準として他を律するから、未だ團體的訓練に乏しい會員が多數を占むる場合は、忽ち會內に異論を生じて、打壞しか或は有名無實に終はらしむるものである、故に團體を組織する際には、主腦者は先づ團體の事業を爲すの前、會員に公共心を發揮せしむるに勗むると共に、團體的訓練を授けるの必要を忘れてはならぬのである。

古人も團體主腦者の心得として『第一に世の中は世話になると世話をするとの只二つなり、然るに世話になるはあしく世話をするは扨々ありがたき事なり、神、佛、聖人は皆人の世話のみし給ふなれば、我等も一人にても人の世話をするは、神、佛、聖にも見はなされぬ故なりと悅で、先づ世話事に取懸る者、是れ第一傳授なり。第二には金銀のいることや、人から損をかけられることを厭はぬ。第三には人の世話になる程にて貰ひたいものである。

●軍縮會議に於ける 制限の基準

◇英米は現計畫維持か◇

米國提議の軍備制限會議に臨み英米二大海軍國が如何なる制限案を提出すべきかは內外の注目する所なるが外電並に各種の報道を參照するに、尙明確ならざるも

▲米國　政府の方針は大體

一、英國海軍と同等の勢力を維持する事

一、建艦制限の實行を躊躇せざるも何國と雖も米國より強大なる海軍を有することには贊同せずといふにあり卽ち米國海軍は世界最大海軍なる地位に動搖を來すこと無くして海軍制限の協定を爲さんとするものゝ如く

▲英國　海軍の方針も亦大英國建國の歷史に省み又其屬領が世界到る所に存在するの國情に鑑みて其海軍力を現在以下に低下するを欲せざるが如く本年度建造計畫を樹てたる戰艦四隻は舊式艦の補充なるを以て右計畫を變更せずとは首相ロイド、ジョージ氏の言明する所なり是等を前提として考ふれば英國は現在の戰艦二十四隻巡洋戰艦九隻を主力とする海軍力を米國は戰艦二十七隻巡洋戰艦六隻各合計三十三隻を主力とする現計畫の海軍力を維持せんとするものにして軍備制限會議に臨みても以上の海軍力を基準として

▲現計　畫以上に海軍力の擴張を行ふことを制限せんとするの意向なるべしと推測するを得べし從つて米國海軍は千九百二十二年を完成期とする現三年計畫を中止するの意なきを推知し得る次第なり尙米國海軍は既定の計畫にして既に建造工事に着手したるものを除外し既定計畫に屬するものと雖も工事未着手の分に對しては（米國の三年計畫は本年一月までに全部工事着手）建艦を中止すべき事を提議すべしと傳ふるものあるも右提議に對して英國政府に於て贊同せざるべく殊に

▲日本　海軍の如きは八八計畫の分が大部分工事未着手なるを以て同意によりて工程は徐程增加するであろう、而も馬車の構造操縱によりて尙有利なる結果を得らるべきことも想像し得る、而し第一に考ふべきは馬車の通行道路である、耕地の內に現今でも尙朽木の橫臥する有樣では自由に馬車は勿論馬の通行も容易でない、せめて耕地內の適當の地點に馬車道を作り自由に交通し得る樣にせねばならぬ。

甘蔗莖の收量は誰も確實に秤量した者がないのみならず耕作の方法、土地、種類、年により大いに相違ある

●イグアペ植民地に於ける 砂糖製造に就いて（三）

紫山生

▲施肥　當地では甘蔗に限らず肥料を施した事は聞いた事もない、伯國では施肥せぬ所もあるが砂糖園として相當の規模を有する所では施肥して居る所も澤山ある、事實無肥料で數年連作して相當の收穫を擧げて居るが、元來禾本科中でも殊に强靱な甘蔗の如きは地力を減耗する程度も他の作物に比し激しいものであるから漸次其必要を感ずるに至るべきは當然である熱帶地方の地中腐植質の缺乏は正に然るべきであつて勢ひ其補給を要することも當然である、今日其必要もない又經濟が許さぬと云ふ人もあろうが、甘蔗の搾り粕其他雜草木を堆積し、家畜の廐肥を工夫し肥養分を散逸せぬ樣工夫し又は甘蔗園の畦間に綠肥用作物の栽培により肥料を得るなど少しの注意と手數によりて得るに困難ではないと信ずる、而して之れ等を甘蔗畑に鋤き込むに於ては恐らく從來一町步の畑は五反步乃至三反步で同樣の收穫を得らるゝに至るであろう、氣溫高く地中に有機物乏しき土地に於ける堆廐肥の効力の顯著なること實に驚くべきものがある、此地方など缺乏せる石灰分を加用するに於て更に妙であろう、購入すべき肥料所謂金肥は伯國に於て比較的高價でない血粉、骨粉、硝石、過燐酸の如きもの〻少量づゝを堆肥乾草等に混じて鋤き込めば、必ず其費に倍する成績を得らるべきは明瞭である、敢て鋤き込むまい、當地でも夫れ位の例はいくらもある、少しの改良によりて此數量に達することは敢て難事ではないと信ずるのである、更に施肥し耕鋤するに至らば蓋し爪哇、玖馬等の七八十噸夫れ以上に達することも絕對に不可能とは云ひ得ぬと思ふ。

勿論ソツカの發芽從つて高くなり、次年の勞力に及す大なるのみならず耕作の上にも不便を來すものである次は運搬である、目下當地では四輪昨年の刈り後れたると旱天の連續の爲め頗る不成績の樣であるが、之れが例外と見ねばならぬ、一般から云へば一町步四五十噸はなければなるまい、當地でも夫れ位の例はいくらもある、少しの改良によりて此數量に達することは敢て難事ではないと信ずるのである、更に施肥し耕鋤するに至らば蓋し爪哇、玖馬等の七八十噸夫れ以上に達することも絕對に不可能とは云ひ得ぬと思ふ。

を以て未だ標準的數量は判明せざるも目下の狀態で一町步三十乃至三十五噸を平均と見得ると思ふ、本年は昨年の刈り後れたると旱天の連續の爲め頗る不成績の樣であるが、之れが例外と見ねばならぬ、一般から云へば一町步四五十噸はなければなるまい、當地でも夫れ位の例はいくらもある、少しの改良によりて此數量に達することは敢て難事ではないと信ずるのである、更に施肥し耕鋤するに至らば蓋し爪哇、玖馬等の七八十噸夫れ以上に達することも絕對に不可能とは云ひ得ぬと思ふ。

好評嘖々

ブラジル語講習錄　出版廣告

ブラジル語講習錄は出版忽ち其大半が賣れました
本講習錄は初學者獨習の唯一無二の良書であります
本講習錄は伯語に邦字を用ひて發音と譯とを附し特に會話の部には實用向きの話澤山に載せました
附錄には日伯兩語の諸願、諸屆書の雛形を網羅し又日伯兩語の藥名、使用及病名便覽を添へました

實價は一部拾ミルレース外に送料（書留料共）一ミル
發送は着金後直ちに正確に取り扱つて居ります
殘部が少なくなりましたから速かに御注文を乞ふ

發賣所　伯剌西爾時報社
NOTICIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H S. PAULO

取次販賣所　瀨木商店
Y. SEGUI
CAIXA POSTAL, 1771, S. PAULO

▼▲東西南北▼▲

◆日本　では兩陛下皇族方奉迓迎の際絕對沈默を以て最敬禮を爲す規定の處今度右法令廢止代ふるに拍手喝采を以てすと皇室と國民の接近可慶

◆東宮　飛行機にて倫敦を飛翔せられ事は龜井侍從の計らひなるが入江侍從長其不謹愼を詰り大激論の末龜井伯供奉員を辭す新舊思想の衝突

◆佛國　の『虎』クレマンソー八十の高齡を以て今度下院議員の候補となる彼は一昨年大統領當選を豫期して上院議員立候補を辭し議席を有せず

◆元氣　旺盛なる彼は東洋漫遊に虎狩などして僅に殿を散しつゝありしが閑散を厭ふ精力主義の權化は再び政界に活躍せんと遂に立候補を宣す

◆功成　身退の支那道德を以て固められたる日本の老政治家中彼と比ぶべきは僅に大隈侯あるのみ東西子は華府會議に侯の出馬を希望して不止

◆國際　聯盟實行協議會は上シレシア問題研究の爲之に全く利害關係を有せざる伯剌西爾、白耳義、西班牙支那の四箇國代表者を委員に擧げたり此の　裁判まかり間違へば英か佛か孰れかゞ聯盟脫退に至るべしとの噂高し而して日本代表者石井子爵其裁判長格たり彼の責任眞に重大なり

◆希軍　戰勝の勢に乘じ長驅土耳古國民黨根據地アンゴラに迫りしがムスタファ、ケマル自ら全軍を指揮するに及び土軍志氣大に振ひ之を逆擊

◆豫想　せざりし逆擊に加ふるに運輸困難と砲兵能力不足とは希軍大敗の因となり死傷莫大或る師團の如き全滅の悲運に遭ひ希軍攻勢全く挫折

◆リヴ　アプールの失業者五千人示威行列をなして警官と衝突數百の死傷者を出し其他各地に小騷動あり英政府失業者問題で又々苦心焦慮中也

◆紐育　に於ても男女失業者の集團警官と衝突し二時間に亘る大格鬪の末漸く鎭靜百餘人の負傷者を出す日本の勞働者はまだ〳〵溫和の方なり

◆人氣　者チャップリン倫敦へ歸つて大持なのに却つて閉口しホテルの室の窓掛を下ろして外出を氣取られぬ樣用心し且つ外出の際には警護人を伴れて行くとは好人氣もよしあし

◇今週の外電◇

◇ヤップ島問題

十日華盛頓電報に依れば、ヤップ島及び太平洋海底電線問題に關する幣原ヒューズ豫備協約は大體に於て日本政府之を承認せるも其條文の詳細に亙りては未だ決定に至らず、但し其要點は左の三項なりと

一、日本は北米及び他國がヤップ島を海底電線の爲に使用するの權利を認むる事

二、北米は日本のヤップ島委任統治に反對せざる事

三、舊獨逸海底電線は、グワム、ヤップ間を北米の、ヤップ、上海間を日本の所有とする事

尙同協約はヤップ、メナド間海底電線に關し和蘭の利權を承認せりと

◇日米戰爭は再來年

十三日羅馬電報は日本の一外交官が同地通過の際新聞記者に語りし處なりとて左の如く報じ來れり、曰く、日米戰爭は最早や避くべからざるものとなれり、此の恐るべき大戰爭は兩國目下の建艦計畫終了次第即ち一九二三年迄には相違なく開始せらるべく、而して戰爭は必ず兩國に限らるべし、戰爭に最も重要なる要素たる人と金の點より云へば北米は著しく優勢なるも、予の思惟する處にてはそは單に外見上の利益なり、此戰爭は必ず海戰を以て終始すべく而して海戰を論ずるには、軍艦は破壞せらるれば幾百萬の金を以てするも之に代ふる能はざるを知らざる可からずと

◇極東問題と日本

北京政府は山東問題に關する日本の直接交涉を拒絕し之を華府會議に提議するの意向なる由なるが、一方ヤップ島問題に關しても北米政府は幣原ヒューズ豫備協約を十一月迄決定せずに軍備制限會議に掛けんとの魂膽なりとの噂ある由、華盛頓より電報あり、尙同電報は曰く極東及太平洋問題は華府會議の主眼たる軍備制限問題よりもヨリ重大なりと大統領ハーヂング氏の親近者は語れりと

◇京城の爆彈騷ぎ

十二日京城なる朝鮮總督府に二箇の爆彈投せられ其內一箇爆發し建物其他に損害を與へたるも幸ひに犧牲者はなかりしと

◇經濟欄◇

●珈琲は供給不足

紐育に於ける珈琲の大輸入商ノルツ氏は此程來伯し、親しく聖州內地を視察したる後、伯國農會の懇請に由り、八日聖市の同會本部に於て珈琲に關し其所見を講演したり

同氏は珈琲の需要、供給に關し說いて曰く

昨年世界の珈琲總消費は一千八百五十萬袋であつた、獨逸の如きは消費少かるべく期待されしが案外にも二百萬袋を消費し、米國の消費は九百六十萬袋に達した

聖州本年の收穫は予の豫想よりも少量にして思ふに七百五十萬袋を超へざるべく、本年の日照り續きは來年の收穫に大影響あるべし

本年世界の生產は一千六百五十萬袋と計算せらるゝが、果して然らば本年は消費に對し二百萬袋の不足を告ぐる次第であると

又他國の珈琲に對し左の如く述たり

珈琲の供給者として將來伯國の强敵たるべきものはコロンビアなるべく、同國の輸出は昨年既に二百萬袋を超過したジャバに至りては珈琲樹の葉病蔓延の爲め近來生產著るしく減少し過去三、四十年間は年產額百五十萬乃至二百萬袋なりしに係はらず昨年の生產は『純ジャバ』種八萬袋『ロブスタ』種九十一萬二千袋に過ぎず、『ロブスタ』種に至りては品質劣惡にして市場に於て懽迎せられず、之を珈琲として取扱ふのも實は問題である

同氏は更に進んで伯國の將來に關し所感を述べて曰く

私が初めて伯國に來たのは二十年前であつたが、其後二回來遊した回顧すれば此二十年間に於ける伯國の進步發達は實に驚くべく、私は之を言現はすに適當の語を思付かぬ、强て之を求むれば獨逸語のKolossal（巨大の義）である

伯國は今や新しき世界を形造りつゝある、十年乃至二十年後には伯國の人口は五千萬に達し其經濟力は更に偉大なる發展を遂げるであらうと

●サントス本年の貿易

……輸出超過……

本年上半季の外國貿易は伯國全體としては輸入超過に終りたるが、聖州の關門たるサントス港の外國貿易は成績稍々良好にして、一月より七月まで七ケ月間の同港貿易は差引一、七五四、〇九七磅の輸出超過となりたり

▲サントス貿易一月より七月まで

輸出　一五、四〇三、七九六磅
輸入　一三、六四九、六九九磅
差引出超　一、七五四、〇九七磅

●國產防衛機關

珈琲を主とする重要國產の市價調節を目的とする金融機關の設立に關しては、計畫の大體に就き、大統領ルエピタシオ、ベソア氏と聖州、ミナス、南リオグランデ、バラナ、ベルナンブコ諸州代表議員團の意見一致したるに由り、大統領は法案の起草を聖州選出下院議員サンバイオ、ピダル氏に依賴したり

サンバイオ、ピダル氏は之に關し聖州政府と協議の爲め過日來聖したるが、同案は出來次第聯邦議會の日程に繰入れ、成るべく速かに之が可決を計る打合せなりと

●珈琲輸出高

過去五ケ年伯國珈琲總輸出高

一九一六年	一三、〇三九、一四五袋
一九一七年	一〇、六〇六、〇一四
一九一八年	七、四三三、〇四八
一九一九年	一二、九六三、二五〇
一九二〇年	一一、五二四、七八〇
計	五五、五六六、二三七

右、輸出港別

レシフエ	一七二、五一九袋
バイア	七三三、九四三
ピクトリア	二、五六七、五九九
リオ	一〇、九一八、五九三
サントス	四一、〇八六、三八二
其他	八七、二〇一
合計	五五、五六六、二三七

●聯邦內債募集

聯邦政府の內國債二十萬コントス（二〇〇、〇〇〇、〇〇〇ミルレース）は愈々公衆募集に取掛り聖市に於ては商工銀行之が取扱を爲しつゝあり債券は五コント十コントの二種にして、利子年七分毎年三月九月仕拂ひ、償還期限十ケ年、發行價格最低九十八ボルセントなり

●伊國の南米起業

伊國の實業界に於ては昨年來伯國北部に對し直接航路開設の計畫あり往航には歐洲特に伊太利製品を運搬し復航にアマゾン流域の藥材、染料其他工業原料を運ばんとするものにして、前首相オルランド氏は先般來伯の節亦之に着眼し歸國後該計畫の實現に對し大に助力したり

然るに今般愈々實行の運びとなり伊國船アンサルド號は過日ペルナンブコに向つて伊太利を出帆し更にゴンサガ號近日出帆の等なり、兩船はベルナンブコ、バラー兩港を主眼とするも貨物の都合にては此外にも寄港すべく、伯國外務長官は此新企業の成功を望み之に關し此程關係諸州の統領へ成るべく便利を計られたき旨電報を以て依賴したり

又伊國政府は伯、亞兩及ウルグワイに對し直接海底電線の架設を計畫し、之が費用に關する勅令八月三十日發布せられたるが是亦オルランド氏の主張に基づくものなり

●物價表（昨日）

棉上（エンラーマ）	一アローバ	一、〇〇〇	
同（エンカローソ）	一アローバ	一、〇〇〇	
米（特等）	六〇キロ	一	
同（最上等）	六〇キロ	一	
同（上等）	六〇キロ	一	
同（並等）	六〇キロ	一	
モミ（特等）	六〇キロ	一	
同（最上等）	六〇キロ	一	
同（上等）	六〇キロ	一八、〇〇〇	
砂糖（特等）	六〇キロ	五四、〇〇〇	
同（一等）	六〇キロ	五二、〇〇〇	
豚脂（聖州產）	六〇キロ	一一四、〇〇〇	
同（南リオ州產）	六〇キロ	一二〇、〇〇〇	
マンヂオカ粉	五〇キロ	一四、〇〇〇	
メリケン粉（亞國產）	四四キロ	四一、〇〇〇	
同（內國產）	四四キロ	四一、〇〇〇	
豆（ムラチニオ、セツカ）上	六〇キロ	二六、〇〇〇	
同（中）	六〇キロ		
豆（ムラチニオ、アケア）上	六〇キロ		
同（中）	六〇キロ		
豆（アランコ）	六〇キロ		
ミリヨ（アマレリニオ）	六〇キロ	一一、〇〇〇	
同（アマレロ）	六〇キロ	一一、〇〇〇	
同（アマレロン）	六〇キロ	一一、〇〇〇	

州農務局認可
消毒 棉種子 發賣
Pereira Ignacio & Co.
Rua S. Bento, 47, S. Paulo
日本文御注文は左記へ願ひます
笹原憲次
Caixa Postal, 1850, S. Paulo

廣告

私儀今般左記の場所に移轉旅館及大工指物業營業開始致候間倍舊の御引立奉希候
アラ、クワラ線カタンヅーバ市ルア、マラニオン角（元郵便局跡）
中國旅館
旅館兼大工指物業 野島兵太郎
郵函九番

◇廣告◇

左記諸君の現住所御一報得度候

大熊長次　管沼末吉　五島菊市
戶田勘次郎　曾木盛一郎　井上浩平
河村未太郎　宮武勘六　竹田森次郎
中牟田榮太郎　野中重助　平楠太郎
木下辨吉

大正十年七月

海外興業株式會社伯國支店
Caixa Postal, 1082　S. Paulo

●コロノ募集●

一、位置、ソロカバナ線シャバンテス及イバウスー兩驛より二里、チンブリー及イラペーに近きコンセッソン耕地
一、地味、氣候、水質等は申分なき程良好にして土地高燥なり
一、賃銀、新珈琲除草一千本に付百八十針採實一袋に付八百レース
一、支拂、每月現金を以て支拂ひ買物の時の運搬賃は無料とす
一、視察、耕地視察御希望の家長には旅費を支給す
一、耕地、には既に就働せるコロノ多數あり、又フバー製造機煉瓦工場其他諸機械あり
一、珈琲樹、のフオルマードは結實良好手入簡易今年は特に多量の結實あり、又新珈琲植付あり
一、牧場、シケイロンは廣大にして餘作地亦充分なり
右の條件にて日本人コロノを募集す
御希望の方は左記へ御來談又は書面にて御照會有之度又直ちに視察御希望の方はシャバンテス驛 HOTEL GRILLO へ御來車あらば耕地へ御案內可致候

Dario Cezar de Camargo
Administrador
Fazenda Conceição, Timbury
Linha Sorocabana

Dr. Alves Lima
Rua Direita No. 7, sala 33
São Paulo

●伯剌西爾曠原の探險

米國 テヲドル、ルーズベルト著
日本 北島湖西子譯

第八章

疑の川（リオ、デ、ドユピター）十三

翌朝ケルミット川口の野營地に於いて、大佐の大に考慮せる一大紀念柱を疑の川とケルミット川の合流點に建て、一同を召集し建設式を擧げたり、カマラダ等は一列に整列し、大佐は其日の命令を傳達し、柱に筆太にケルミット川と記されたり、次で大佐はブラジル政府の命令に依り、此大川をルーズベルト川と命名すべしと讀上げたるに余は一驚を吃せり

余は固く之を辭しケルミット亦固辭し、從前の如く疑の川の名を以て持續せられん事を主張せり、實に疑の川とは良き名稱にして、永久その實體を證明するに適當なりと考へしも多くの友人等の勸めを無下に固辭するも頑迷の恐れあり、遂に其厚意を拜承せり、大佐は合衆國の萬歳を三唱し、余及ケルミットの萬歳をも三唱し皆合唱せり、余は謹んで伯國の萬歳を三唱し、大佐、リラー及醫師と共にカマラダの萬歳を三唱せり、リラー氏はチエリー氏を逸名せるを謝し、チエリー氏の萬歳を三唱し散會せり。

間もなく出發し余は後備にあり、十五分も進みしに輕舟兎角早くして、他を乘越すこと多く爲めに屢々停船せり、一行は茲に新しきインヂア人の氣配を感じ、又聲を聞けるも彼等より恐れて逃去れり、インヂア人の小漁村に出でたるが、今し方逃去れるが如き形跡ありき、三軒の長方形の小屋は椰子造りにして、全體に於て只四個の出入口あり、内部は眞暗なるは蚊の豫防の爲なり、斧小刀其他珠數等ありしも敵對的武器らしきものなきに依り、其穩順なるを知るに足る、其他にも沿岸にインヂア人居住の形跡ありき。

四時間半程降りたる所にて、東より入り來り會する淺き川ありき、景色よろしく暫く停船せり、次で進む事約八キロメートルにして急流に會せり、カノアは荷物の三分の二を搭載して無事通過し、他の荷物は陸送しその落下に野營せり、蓋し此の附近カノアに適せるを以て、愈々此處にて輕快なる小カノア二艘を新造する事に決せり、夜は更けて星は輝けり熱帶森林中より眺むる星の輝き、月の清明なる光、日の出日沒の莊麗なる他に見る能はざる光景なり。

翌十九日一同カノア製作に從事せり不幸にも前回の大カノアの木は非常に硬くして重く、削片は水に沈める程なりしを以て、仕事も從つて大に困難なりしが、此度の木はアラプタンガと稱する木にして、作業頗る容易なる上水に浮ばしむるに好適なり地上の巨根は壁柱の如く現はれ、巨大なる堅き果實梢頭に多數實れり、第一の木は腐木にして、然かも切り誤りたるを以て庖厨の燃料に供せり彼等は至難の業に喜んで粘氣強く働くも、北方の屑水兵は到底その熟練を有せず。

余等は三日間にて此作業を完成せんことを希望せり、仕事場は天幕の前の森林を切拂ひたる廣場にして、高き木の中にも目立てるは、大なる葉を有せる野生バナ、則ちパコバなり余等は水浴せるが例のピラニヤを此處にも捕へたり、徵發蟻野營近く逍遙せるに依り、その孔口を燒拂ひたるが夜に入りて掛け換へなき損害を蒙むれり、天氣快晴にして日暑し、乾物をなせり、蝴蝶多きも鳥少なし然れども朝早く森に愛らしき小鳥の奏樂を聞けり、就中人の心を引けるは例の鈴鳥と蟻喰、つぐみなりき、蟻喰は多くは地上を飛走し、喉元白く燕の如き優しき啼聲をなせり。

疑の川を發して已に三週日を經過しその行程百四十キロメートル、實に遲々たりと云はざるべからず、而して前途に尙ほ幾何の障碍あるやを知る能はず然れども川の流れは通常拋物線的に上部に於て急落するなるを以て、余等一行今後の行路も過去に於て經過せるが如き、困難なる急流に遭遇すること少なかるべく又事實然らんことを希望せり。

●華盛頓會議の 海軍代表者

◇河野中佐の談◇

來る十一月華盛頓府で開催と決定した軍縮太平洋問題會議に日本海軍よりは加藤寛治中將が出席すると內定したさうだが、現海軍大學校長加藤中將の履歷として今回ブラジル公使館附武官として赴任の途に在る海軍中佐河野善吉氏が桑港に於て『新世界』記者に語る所に依れば

▲『加藤中將は海軍部內で露西亞通として知られた人で英國にも長らく居られ英國事情も詳しい譯である戰時中は日本海軍の浦鹽に派遣した艦隊の司令官として英米各艦隊の司令官と

▲共同行動を採つて浦鹽方面の警備に當り評判がよかつた戰後に於ては歐洲各國を歷巡して戰後各國海軍の狀勢を精査し戰後最初の『獨逸入』をされた其後歸朝して砲術學校長橫須賀鎭守府參謀長の榮職に歷任の後海軍大學校長に

▲任命された將來有爲の將官として一般に認められて居る人だ、それから上田、永野兩大佐は華府に關係が深く上田良武氏は歸朝した許りで此任命を受けたらしい、永野修身氏は目下華府大使館に居るが海軍側の代表では加藤中將を措いて他に一寸適當な人が見當らぬ。

●太平洋會議とは何か（中）

——日本にとつては最も注意すべき米國の提唱——

◇一體何を相談しやうと云ふのか◇

▲太平洋と英領の利害

それも其の筈、昨年一箇年の日英米佛伊太利五箇國の軍事費總額三百二十八億八千四百五十萬二千二百二圓と云ふ途方もない金高で此五箇國の人口總數三億一千六十六萬七千七百二十三人に割り宛たら一人當り百〇四圓になる、カーネギーや岩崎のやうな金持なら百四圓は何でもないがこれは裏店の婆さんから區役所へ屆けたばかりの嬰兒まで割り付けての百〇四圓だ、この先きいくら擴張するか知れない此調子で行けば軍艦を塗り立てたり大砲をみがきながら餓死しなければならない、其處で軍備制限の會議を開きたいと云ふことになつた。尤も會議を開くに就いてはそれ〴〵魂膽もあり單に右の理由からでなく色々裏も表もあるが我等は柔順に表面の理由丈見て置くのです、所が會議には音頭取が要る、誰か云ひ出さなくてはいけないこれが又厄介で云ひ出すものに貫祿がないと寄りが惡い、故障を唱へるものが出て來る、小ぼけな國が云ひ出してはどんない、提議でも通らない、云ひ出して通らないと男前が惡いから誰も手を付けない、手を付けたら名を揚げるに定つてゐるが顏を潰すのが恐しいから控へて居る。然る所英吉利で大英帝國會議と云ふのが開かれた、英吉利は御案內の通り世界至る所に植民地を持つて居る其植民地の大部分は自治と云つて本國政府の干渉を受けず自分で議會を持ち政府を組織して政治をやつて居る殆ど獨立國である、これ等の自治植民地、詳く云へば加奈陀、濠洲聯合國、新西蘭、南阿聯邦四國であるが之と英吉利本國と印度とを合せて大英帝國と云ふのであるが此大英帝國の高等政策を協議するために各植民地首相と印度代表と英國首相と寄つて會議を開くのを大英帝國會議と云つて八釜しいものです、これが六月に開かれて色々協議した。大英帝國中加奈陀濠洲新西蘭は太平洋に面して太平洋に大いに利害關係がある。

▲この十一月華盛頓で

太平洋に利害關係のあると云ふことは云はずと知れた他の二大太平洋國である日本と米國との關係からです所が日本と英吉利とは二十年來同盟國として手を提へて太平洋問題を扱つて來た、然るに米國の太平洋に對する利害が近年益々增加して來て今迄のやうに日英同盟で米國を除外して事を運ぶことが出來ない、それに獨逸の海軍が亡んで大西洋は英吉利の獨天下になつて大いに海軍の餘裕が出來て來たから米國の機嫌を損ねて迄日英同盟を押し通す必要が英吉利側になくなつて來た、そこで大英帝國會議では日英同盟を更に新しく立て直すことは止めにし從來のものを一層骨拔きにして其儘にして置くことにした、だから太平洋の問題でも改めて日英米三箇國で協議しなければ從來の方針でやつて行けなくなつた。

鍛冶職廣告

私儀鄉里にて鍛冶職營業大正二年渡伯後サントス港ドック會社工場に滿五ヶ年勤續の處今般左記に獨立鍛冶職を開業誠實を旨とし農具其他一切の器具製作可仕候間何卒御用命の程願上候

サントス港 平田初太郎
H. Hirata
Caixa Postal, P. P. SANTOS
プロゼーシタダ三四街三三番
エスタソン、ジユキアー際

謹啓各位益々御淸祥奉賀候陳者本店業務擴張左の通り營業仕候間倍舊の御引立伏而願上候
一、ベビーダス、食料品
一、日本品、小間物、化粧品
藥品其他
一、神田醬油
一、農産物依托販賣

岡島仁郎
Caixa Postal, 14
Est. Cerqueira Cezar
L. Sorocabana

旅館
和洋御料理一切
ボニータ街一一番
上地彌藏
郵函 一二二五
電話セントラール 五七〇一

◆種子物◆

此機會を逸せず至急御注文下されたし
九月十日頃發賣開始!!

時無大根、聖護大根、山東菜、小松菜、大王蕪、聖護院蕪、方領大根、東京大長午旁、時無蕪、早出夏大根、東京大越瓜、櫻島大根、ホーレン草、珠チサ、宮重大根、朝鮮白菜、三河島菜、杓子菜、東京大長人參、金時人參、筋成胡瓜、青大胡瓜、縮緬南瓜、支那三尺茄子、シユンギク、東京根深葱、大青越瓜、大王白菜、大形西瓜、サンシヨウ、レボーユ
定價一袋一ミルレース均一送料各袋百レース宛
新刊雜誌到着

直輸入商 瀨木商店
Y. SEGUI Caixa, 1771 S. Paulo
コンデ、デ、サルゼーダス街四九番
電話セントラール 三八三六番

◇神田醬油取次販賣所

御待兼の
葡和辭典
到着しました、今度は紙價騰貴と伯貨下落の關係で、左の價格で發賣する事にしましたから、品切にならぬ中早く御求め下さい。
一册實價十二ミルレース
外ニ送料（郵便鐵道共）一ミルレース
御送金は必ずコンバロールか郵便爲替で、宛名は左の通り願ひます。
NOTICIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H
S. PAULO

伯國醬油製造界元祖
神印最上醬油
サントス港
釀造元 神田榮太郎
Caixa Postal, 282
SANTOS

讀者と記者

●己を強くせよ

伯剌西爾時報記者足下、私はモジヤナ線の某耕地に住んで居る者です、此の耕地は働き人の私共に取つては決して悪い耕地ではありませんが、通譯は教育の無い人だけに言葉が穢なく、且つ亂暴で、娘さへ見れば其の後を附け廻はつて、色々言ふに言はれぬ不道徳の行爲があるのです、其處で私共は或る日曜に寄合ひして此の悪通譯を改悛せしむるの方法を研究致しましたが、格別之と云ふ名案も浮びませんので、結局彼の爲した事柄で證據の擧つてゐる三四の事件を算へ上げ、再び箇様のことの無い様に嘆願的に述べて見た、所が固々頑迷な通譯先生自分の急所を衝かれたるを憤り、自分の悪いことなぞ全く棚に上げ、親切に話せし私共に向つて復讐的に辛く當ると同時に、自己の不道徳を前より一層強烈に振舞ふのであります、無論私共にした所で此處のみが日の照る場所でないから、事の次第に由つては他に移動も致しますが、高が一通譯の悪所業相手にするも大人氣なしとして寛大に遇して居ります、併し過さうと思つて過し得ぬことは娘共に對する彼の不道徳で、是れだけは何とか喰止策を講じたいと思つて近頃も亦耕地内の同胞會議を開きましたが、愈々實行する段に到ると私共には何等の權力がないので結局又泣寢入りに終りさうです、何か悉う云ふ塲合に好き方法がないものでせうか、一つ伺ひ申します。(正義生)

數の多い通譯の中には種々の人物がありませう、其中にも君方が甚だ質の悪い通譯に出會つたので洵に氣の毒です、事實悪いことがあるならば、支配人に告げても、耕主に訴へても通譯の處分位ひは出來さうなものではないか、若し其通譯が耕主にも支配人にも氣に入りで働き人の意が上に達し得ぬならば帝國領事館に訴へる道もあらうから少しも躊躇するなく之を決行するが良いでせう。(一記者)

農界資料

●澱粉の製造(二)

◇甘藷澱粉

甘藷を多く産する地方にては、生りかへ、米が指にて壓し潰ぶされる程度の軟かさにする、それをとり上げ石臼にて壓潰し、且つ其作業を容易にするためにソーダ液を少しづゝ加へる、さて米がドロ〳〵した汁になつた處で篩にかけて粕を去り其濾しとりたる澱粉乳を桶に受け、水に加へかきませて後沈澱せしめ、上澄液を去りて後、乾燥すること他の澱粉製法と同様にする。

澱粉の産量は白米は澱粉に富む故に、其割合も多く十貫目の澱粉を製するに米十二貫五百匁を要する位のものである。

副産物として生ずる粕は家畜の飼料に良い。

●煩悶と信仰(三)

峯白

吾れ心の清楚なる時高きに登りて四邊を見る時心は空に擴がり地にのびて大自然と融合し身は浮雲風に置けるが如く吾れを忘れて其中に引入れらるゝが如き心持の爲事あり其時起るもの生の感喜なり現實を愛慕するの情なく共又好める書を讀む時吾心は書中に融合して同情の涙あふるゝ時あり勇猛の心飛立つ時ありかゝる時吾心に吾れなく又他なく唯見ゆるものは行路のみ售點のみ吾れ己れを知る時も又かくの如き心境の起る時あり己れの爲すなきに悲哀思へば渡伯當時の僕はポンの覇輩だつた、洋服を着るのが樂しさにブラジルへ渡つた位の事だ、十年以内には歸朝すると無雜作に約束したのも深い考へがあつての上ではなかつた事勿論だ、許して呉れ玉へ。

併し約束は約束だ、何年といふ年を限る事は出來ないが何時かは面會して有利有望の伯國を君達に說く時があらうと信ずる、洋服を着る事が嬉しくて一掴千金を夢見て居た時代と今とは僕の考へに天地の差がある、斷つて置く僕は既う永住の覺悟を定めて居るのだ、母國は狹隘だ伯國は尨大だ、僕はこの尨大な何を爲やうとて遮り手のない伯國で精一杯の仕事を行つて見たいと思つてゐる、歸國はそれからの事だ、そしてそれは再び歸らぬと云ふ歸國でなくて一寸母國を訪問するといふに過ぎないのだ、天惠豐かな伯國の自然は何時の間にか僕に此の心意氣を有たせた、君達が僕のこの心意氣に免じて違約の罪を許して呉れるであらう事を信じ筆を擱く、失敬

●僕の北聖視察

廻遊生

今年の不景氣は到處に舞込んで居るが殊に怠惰者の多く居る處程不景氣の度が强ひ、天は正直だ、耕地生活の同胞は耕地の善悪を問はず大差なく略同一の樣である、耕地の善悪の風評はあれど其の實兩方共貧乏も居る、何處の耕地へ行きても金持ちは年勤者である辛抱者である、土地所有者は腐つても鯛だ借金は有れど呑氣相に視へる、某君の結論では成功は時を待つ外手段なしと云ふ僕の意見とは少し違ふ、時は毎日來ては去りつゝあり其れも矢の如く過ぎ行くではないか、待つが是か進むが非か、此の判斷は一寸困難だ流歐の内には『盡し節』がある僕の此の線の視察も不景氣盡しで終つた今年の農業者の不景氣は作物値段の暴落に基因するは勿論なれど、一つは自身の行動に依る事又明かである耕地内で幾年も誠實に勤勞して居る家族に限り不景氣風は何處を吹いてるといつた風だ要するに僕の此の度の視察で得た實物は誠實に辛抱する事と貯蓄の必要とであります。

●母國の友へ

パラナ　橋廣生

君達と別れて早や十年になる、十年以内には屹度面會すると約束した年限は既う來た、併しどうやら約束は果せさうにない。

思へば渡伯當時の僕はポンの覇輩だつた、洋服を着るのが樂しさにブラ

◆投稿歡迎◆

論文、感想文、紀行文等何種の投書も結構ですが特に

●耕地植民地其他內地の情況

に關する通信を大に歡迎します長いものは勢ひ削つたり後廻しとせざるを得ない遺憾が伴ひますから御投稿は成可く短信であつて欲しいのです。

旅館

拜啓各位益々御清榮之段奉慶賀候陳者私儀柿內旅館を引受候てより既に一ケ年を經過致候處未だ御披露も不申上失禮仕居候就ては今般一週年紀念を機し設備に一層の改良を加へ益々實直叮嚀以て各位の御便利を圖り候間不相變御引立被下度茲に御披露を兼ねて御願申上候　敬具

犬正十年八月

アララクワラ線カタンヅーバ町
バライバ街角(柿內旅館跡)
氏原彦馬
Caixa Postal, 77
Est. Catanduva
L. Araraquarense

左記(移轉仕候間倍舊の御愛顧希上候

佐々木洋服店

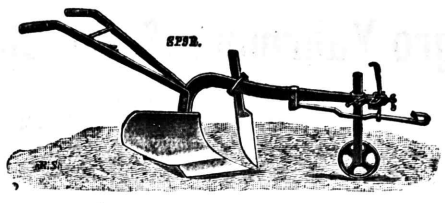
コンデ、サルゼーダス街五一番

御旅館

サントス市プラサ、デ、ジヨゼイボニファシオ五一

平安名山戸

Praça José Bonifacio, 51
SANTOS



聖市キタンダ街十番
ブロンベルグ商會

BROMBERG & CIA.
Rua Quitanda No. 10
Caixa Postal, 756, S. PAULO

獨逸製幷米國製アラード及附屬品、犁、製粉機、穀皮離脫機、其他一切の農具幷石油發動機、牛馬牽引發動機等安價にて堅牢なる品多量到着致候間御用命伏して希上候

尙詳細は左記へ御照會被下度日本文ならば時報社宛に願上候

社告

左記の處に支部及び取次所がありますから購讀申込料金拂込、其他の事に就いて便宜最寄の處へ御照會を願ひます

◆モヂヤナ線コンキスタ驛
コンキスタ支部　福川薩然

◆ノロエステ線エイトル、レグルー驛上塚殖民地
エイトル、レグルー支部　鈴木季造

◆同線ピリグイ驛ピリグイ土地木材殖民會社
ピリグイ支部　宮崎八郎

◆同線アルブケルケ、リンス驛森部商店
アルブケルケ、リンス支部　森部一衛

◆海外興業會社伯國支店リベロン、プレト出張所
リベロン支部　坂元靖

◆ノロエステ線プレジデンテ、ベンナ驛
ベンナ支部　古庄常喜

◆サントス市ラルゴ、セテ、デセテンブロ一五番成功館
サントス支部　古謝將義

◆ソロカバナ線セルケラ、セザル驛
セルケラセーザル支部　岡島仁郎

伯剌西爾時報社

港旅館

サントス港ベー街二七四番
赤堀吟造
Rua B, No. 274 SANTOS

卸小賣

◎諸品の御注文なら安心して御取引の出來る

中矢商店
Rua Conde de Sarzedas, 65
S. PAULO

◆日本品各種
◆種子物、書籍
◆仕立洋服刃物
◆反物、雜貨類
◆神田醬油

Liquidação Geral
Casa Victoria

Rua da Liberdade Nos. 45-47-49
Telephone, Central 4076 ... S. Paulo

改築に付大安賣

◇總て平生の半値段です◇

薄縮緬、繻子、デヨルヂエツテ、支那縮緬、其他絹物類各種

カーザ、ビツトーリア

羅紗、毛織各種、結婚式服地、其他各種の反物何でもあります

◇是非一度御立寄下さい◇

●危機！（二）

（幼き頃の想出の二）

松本高信

姉さんを持たない私はだん〳〵お縫さんに惹きつけられていつた。そしてお縫さんの好きな落花生の袋など學校から歸りに雜嚢の中へ忍ばせて來て

『お縫さんご馳走があるよ』

と言ふと

『そう有難う、今度は妾しが奢るわ』

とお縫さんが翌晩は鹽煎餅を購つて來るといふ風になつた。

そしていつか寒い師走の月が來た。私とお縫さんはだん〳〵仲よくなつた。日光嵐がヒユー〳〵と板屋根の上を拂つて去ると人達は冬籠りをして炬燵や圍ろり端で女は縫物男は藁細工などする候になつた。

誰も彼もいろ〳〵物思ひする頃だ。或る日曜の夕暮れ、黒い張りが上野の山國に垂れて嚴重に戸じまりした家から幽かな灯が洩れて出るころ『T』さん表へ出てご覽なさいませ、越後の山がよう燃えますせ』

と二階の欄干に椅り掛つたお縫さんが聲をかけた。

私もお縫さんと並んで欄干に跼つた遠い遠い越路の山がボーツと赤う燒けてる。

『よう燃えます子』

と遠い赤い山に眼をやつたまゝお縫さんがシンミリした調子で亦いふ私の故郷でもそうだ今頃になるとよく山に火をつけた。

山火事！こう言つて故郷の家の上り端に立つて燃えて行く火を見た事が憶ひ出される。

嗚呼故郷が戀しい。家が戀しい。

と私は憶ひ出すとたまらなくなつてポロ〳〵と涙が頬に傳つた。

『高さんは泣てるの、エどうかして』

とお縫さんが私の頸を抱へ乍ら言つた。私はもう堪らなくなつてお縫さんの膝に顔をおしあてゝすゝりあげた。涙がお縫さんの着物に滲む。

お縫さんの暖い身體の血が私の顔から私の血の中へ流れこんで女のにほひが鼻をつゝく。

『泣ちやあ駄目よ、どうして泣の、故郷が戀しくなつたの、エ？エ？』

とお縫さんは幾度も問た。そうしてお縫さんもたまらなくなつたのか私をしつかと抱へて私の顔に柔かなお縫さんの顔をおし當てた。

お縫さんの頬からもお縫さんの涙が私しの頬へ流れて來た。

その晩からお縫さんは寢具を私の部屋に持上てきた。そして私と床を並べて寢る事になつた。黒い布を掛けた電燈の下でお縫さんと私はほんとの姉弟の様に寢た。

耻しい様でも亦私しには何より嬉しい様でもあつた。

私の友達などが下宿へ遊びに來ると四角に切つた羊羹をお茶と一しよにお縫さんがよく持て來て呉れた。そしてお縫さんが下へ降りると

『あれは君の姉さんかい』

とよく友達は私に聞た。

『イヽンニャ』

こういつて私しは赤くなるのが常だつたが私とお縫さんは人が一寸見ても姉弟のほど馴れてゐたのだ。

ところがそれからお縫さんはだん〳〵無口になる様な氣がした。そんなに聲高に笑ふこともなくなつて來た。そしてそれが私しにもわかる様になつた。

前よりもずつと沈んだ人の様になつた。

である晩いつもの様に枕を並べて寢ながら

『お縫さんはどうかしたの』

と私は聞いて見た。

●少女詩人

……ことし七つの……

小林章子と呼ぶ大阪東區備後町毛布問屋小林政治氏の末娘が今年七歳の少女詩人、膝つきりしかない桃色の子供服に小判形ヅックの靴を穿き男の子の中に交つて幼稚園の木馬を侶伴に戲れてゐる子です、まだやつと片假名を覺えた位で自分の作に覺束なげなペンを走らせると云ふのです天才は何處に潜んで居るか分りません、試みに章子さんの童謠の二三を書いて見ませう。

太陽の強い光に射られ乍ら歌つた謠に

眞赤なお日さん
林檎のお日さん
眞赤なお日さん
皮をむいたろか
大阪訛りと子供持前の癖のある言葉をムキ出しに歌つた句切れに何ともいはれぬ味があります。

笛の音を聞いてあの哀調を含んだ絲の様な餘韻に動かされて

笛、なんで穴あいてんね

それから風入つてさぶいやろ

そいで寒いゆうて泣いてんねやろ

金魚鉢が割れて紙の糊張りで繕つたのを見ては

水色のガラス
ケガをしたガラス

紙の繃帶をしてやつた

と飽迄も清かな子供の心を失はない道頓堀の夜店で蟲の聲を聞いたら

蟲、蟲、

時計のやうに

かちん〳〵なく

時計の中へ

はいつてなき

又螢を詠んで

螢、螢、

なんで蠟燭つけてんね

熱いことないか

『海』

海、海よ
あんたの身體は
つめたいな
はよ、お湯にはいつてき

『栗』

栗、栗、
黒い顏して

とがらした顏

ぶり〳〵何を怒る

『土』

土、黒い土
水の中へはいつて
洗ろといで

その悉くが讀む人の愛と美笑を領有せずには置かない、かうして少女詩人のため詩化された凡ゆる自然の情景は粗末なノート十二冊の全頁を埋め盡し近く童謠集が公刊されると

●雜詠

タクアリチンガ　川の村人

思出の春は來にけり花も咲けど
君の姿の見えず淋しき

春がすみ四方の山々立ちこめて
我が住む里も春めきにけり

紅のレンソ彼方に打ち見れば
君ならずやと胸おどるかな

我一人フオイセを杖にたゝずめば
雪の如くに木棉の散り來る

コツケイロの椰にかゝる春の夜の
月見る我の心さみしも

去年の冬父は逝きましぬ七度の
春を南と北に送りぬ

早八度故郷の春に逢わざれば
草木も人も我を待つらむ

君思ふ宵に故郷の母思ふ
男はすでに二十三となりぬ

故郷を燒野ケ原と父母も捨て
渡伯せし我の健氣なりしよ

カチ〳〵とひゞく時計の下にありて
老いたる母は我を待つらむ

北海哀話　監獄部屋（六）

三友生

自分の生命が惜しければどんな無法も見て見ぬ振りをするより外はないのである。それで棒頭に無駄口をへるやうに漁夫の顏を見た。

『それだ、うまく荷の中にでも隱れるんだね。その代り見着かつたら生ち上つた。德さんも元氣のない樣子で無意識に腰を揚げた。

貞の畜生一圓か二圓の周旋料が欲さに、半年餘りも同じ釜の飯を食つた自分をうま〳〵陷めやがつた、と思ふと德さんは胸を掻きむしりたい程口惜しかつた。助かつたが最後見てゐやがれ、越後でも加賀でも草を別けて探し出して唯ぢや置かない、此の怨みばかりでもむざ〳〵棍棒で撲り殺されてたまるもんか、と思ふと又死んだ父親の事が胸に浮んだ。父親は死ぬ間際まで『書物だけは讀めよ』と繰返し訓戒した。

『拉れて行て貰へまへんやろか』

『はゝゝ、暢氣な事を言つてらあ、お前にや棒頭が附いてゐるんだせ』

『逃げる工夫はおへんやろか』と訴へるやうに漁夫の顏を見た。

『それだ、うまく荷の中にでも隱れるんだね。その代り見着かつたら生ち上つた。德さんも元氣のない樣子で無意識に腰を揚げた。

命は無えものと諦めなせえ、先刻の奴でもあのまゝぢや濟まねえ、きつと半殺しにされる、何しろ見せしめとさ云ふんだからなあ』

『ほんまに、どえらい事に成り居つた』と浸み〳〵吐いた德さんの唇はびく〳〵と痙攣つた。

『燒かれやうと食はれやうと相場の定まつてる野郎共はどうでも好いがお前だけは助けてやりてえと思つてな、幾つだい』

『二十七どす』

『さうか、可哀相になあ』

と漁夫はつく〴〵言つて德さんの顏を氣の毒さうに眺めた。德さんはつい意氣地ない氣が出て不識涙ぐんだ『もう別れやう、棒頭に目を付けられちやお前の爲に惡い』漁夫は自分の出した銅貨をポケットに納めて立

『栗』

栗、栗、
黒い顏して

キユービー見たいに

●獨孤の月

ダスフローレス　黒坂露山

おぼろ月窓ぎわ近く鳴く蟲の
聲きれぎれに唄ふ悲しさ

父母居ます御國の空に月高く
心淋しく一人ながめぬ

一人身は心淋しく夕月に
しばし芝生に物思ひけり

◇天長節を祝して

しのゝめの空を仰ぎて大君の
玉齡永かれと祈る同胞

紫水

畏こくも皇みいずは異國の
柚が家にも朝日かゞやく

ガルサ殖民地
ノロエステ線プレシデンテアルベス驛
ガルサ市街地
を賣り始めましたから企望者は至急御申込ありたし
ピラポジニヨ殖民地
ソロカバナ線サントアナシタシオ驛
明細書御希望の方は御通知次第送呈します
代理人　矢崎節夫
コスチナ土地殖民會社
Caixa Postal, 296 S. Paulo

Empreza de Terra e Colonização Costina
Dr. Labieno da Costa Machado
Rua B. Itapetininga, 13-A, S. Paulo

FUJISAKI & COMP.
日本品各種
藤崎商會
サン、パウロ支店
東京本店　赤坂區溜池町卅三
本店　リオ、デ、ジヤネイロ
支店　ベルナンブーコ
Rua S. Bento No. 68-A
Tel. Cent. 2788—Caixa, 344
S. PAULO

聖波羅土地材木殖民會社
◆當社は水質良好、氣候温和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絶好殖民地ビリグイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す
◆當社は既に千八百家族の各國人を有し、其中四百家族の日本人植民し且道路四通八達し兒童教育機關及日本醫院の設備等あり
◆尙詳細は左記苑御照會ありたし
ビリグイ代理人　宮崎八郎
Est. Birigüy　L. NOROESTE

日本貿易株式會社
聖市出張所
Rua Quintino Boavuva, 80
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449
São Paulo
リオ支店
Rua Candelaria, 90
Caixa Postal, 1246
Rio de Janeiro

日本近信

●各省を縦斷する若手高官連が
◇陸海軍の經費を研究する秘密結社

大藏省の某當局は『君等の方で幾らの經費を削減してもデカイ所で纏めて仕舞つて行かれるから折角苦心しても全く駄目だ』と外務省や内務省あたりの高官連に向つて

▲長嘆した相だ、これはいふまでもなく陸軍省が尨大な經費を掻浚つて行くことを指したものである近來尾崎行雄氏等の軍備縮小の提唱もあり旁陸海兩省の經費の縮小は各方面で研究され政府でも内々此の方面に手を附け出した形跡があるし、政友會でも調査をすれば國際聯盟協會でも手を附初めたので正に兩省は官民▲總攻撃の的となりつゝあるが此處に最も極秘で各省の大尉以上大佐級までの若手及高等官中の新鋭を網羅する秘密結社が結ばれ既に第一回の顔つなぎを行ひ第二、第三回の會合も近く某所で開催されることになつてゐる、此の會は丁度外務省の革新同志會を延長した樣な各省を縦斷するもので私設會計檢査院とも言ふ可く談論風發の▲激しい結果第一回の時も外務省の某氏と陸軍省の某氏とは鐵拳を飛ばし合つたといふ程に實の入つたもので具體案が出來れば各省聯合會員の名に於て決議書を提出し猛省を促すといふのであるが此會合で一番に鎗玉に擧がつたのが陸海兩省である今最も熱心に會員連は調査資料を蒐めてゐるがその内容に至つては實に▲奇怪を極めた事實多く海軍省に關聯する委任統治上に於ても經費の出所怪しく濫費せるやの疑ひもあるとか、又陸軍省に至つては殊の他甚だしく現に歐洲派遣の△△少將の如きは手當給料を合した二千七百圓からの大金を月々某大銀行宛に送つて來るとの事實もあり在外將校中には此例頗る多く如何なる金で生活を續けてゐるのか頗る奇怪である陸軍側が金を▲湯水の如く使ふ事は外務省邊りは貴族院及び衆議院の少壯政治家近衛公を會頭に文麿公を會長として立憲協會なるものを組織し華盛頓會議に關する問題を論議せんとす。近衛公は曰く華盛頓會議は一部に噂せらるゝ如く決して日本に對して不幸を齎すものに非ずして日本の世界的地歩を明確にする絶好の機會である。尚立憲協會は西伯利亞撤兵を主張すると共に支那の宗主權を擁護する爲めにその國際管理に反對してゐる

●參謀本部廢止論

△三浦梧樓將軍は日本參謀本部は本來獨逸の制度を模倣したるものにて責任内閣の政治を甚だしく妨害し現今文明國にて斯るもの無し宜しく陸軍省自らこれが職務を行ふ可し、尼港事件の如き本來陸軍省と參謀本部との政策の隔離より起れるものにしてこれが廢止は日本の國際政策に好影響を及ぼさん旨の文書を樞密顧問官三浦梧樓將軍主張

●還附交渉開始

東山東日本政府は華盛頓會議前取急ぎ支那政府との直接交渉を以て山東問題を解決せん事に決定せり依て植民地會議の爲めに歸朝したる駐支公使小幡酉吉氏は七月三十日急遽北京に引返し支那政府と還附の交渉を開始せり

●七月輸出入額

七月中の輸出總額九千七百八十一萬四千圓輸入總額一億〇九百三十七萬圓本年一月以降累計輸出六億七千百六十六萬圓輸入九億〇八百二十五萬圓にて昨年の同期に比し輸出六千二百十三萬四千圓輸入八千六百六十圓の減少である

●油田買收競爭

△墨國で日英米三國が日本石油會社の地質技師大村池上の兩氏は去る五月下旬入墨同國に於ける油田調査中であるが米國の石油業者は兩氏の擧動に深甚の注意を拂ひ日本の技師に油田地を發見せられたり日本の資本が墨國に投下せられたりしては大變であると八大石油會社が聯合で五十萬弗の探鑛費を以て十數名の米國人技師を急遽墨國へ派遣することになり此の外英國及西班牙でも多數の地質技師を入墨させて調査に熱中して居る有樣である爲め日英米三國の墨國に於ける油田買收競爭は益々激甚を極むるに至つたと

●支那巡警亂暴

八月四日夜南滿洲牛莊開城附近にて支那巡警吏五十餘名は七十餘名の日本人を襲ひ取組みと成り日本人五名の死者十七名の負傷者を出した

●南洋廳の新設

△試驗所設置の計畫

海軍省の所管に屬せる南洋諸島の行政は昨年度より拓殖局の所管に移し南洋廳を新設する豫定にて目下拓殖局に於て同廳豫算の編成中なるが我委任統治下の南洋諸島は砂糖及びゐの一端に供する前提として明年度豫算に於て稍大規模の試驗所を設置する計畫なりと云ふ

●井上子爵起訴

滿鐵疑獄事件に就き松本丞治博士の檢事局に召喚審問を受けたる後鞍山超製鐵所長にして渡米中なりし工學博士井上匡四郎子爵は横濱に到着するや瀧川檢事は特に港外に乘船して船中同子爵を審問し引續き東京に於て中西前副社長と共に喚問せられたるが近く起訴される筈

●山形縣の大洪水

八月八日山形縣に大洪水起り數千の家屋に浸水し破壞されたる橋梁四十に餘り、現に判明せる死者二十四名に上る

●損害高一千万圓

△和歌山縣水害の慘狀

三十三年來の大洪水の慘害を受けた和歌山縣日高郡は縣下有數の豐田を抱擁する平野で六百四十四町歩の浸水中二百町歩は復舊の見込なく他は二三年後ならでは復舊せぬ其損害の程度は約一千萬圓に上るべしといふ

●米人帝大教授頓死

東京帝國大學經濟學部教授米人ウ井リアム、ハイド、ブライス博士は八月九日信州輕井澤に避暑中谷に墜落して頓死す

●作業自治を承認

△造船所の罷業解決

川崎造船所の約一ケ月に渡る大罷業漸く解決を告げ二萬の全職工は工場の作業上の自治を承認せらるゝ事に滿足し八月九日から無事復業した初め職工は職工の工場管理と勞働組合の承認及六時間勞働制を要求し三菱造船の職工亦之に呼應し大示威行列の際既報の騒擾が擡つたのであるが三菱先づ作業自治を承認すると共に川崎亦之に應じたので漸く解決を見るに至つたのである

●家庭經濟世帶の會

△農商務省より囑託

米を始めとして多くの卸値段が下落しない許りでなく反對に高くなる傾向を示して居る生活難の聲の高いのはこの邊りから出てゐるのである、そこで農商務省ではこの原因何れにあるかを調査研究中であつたが畢竟買買方法が複雜し多數商人の手を經て始めて消費者の手に渡りその間に多額の手數料が掛つてゐるために斯く高いのだと判り、この購買方法を改善せねばならぬ殊に家庭の主婦にこの改善觀念を持たせることが必要とあつて今回東京女子高師教授甫守ふみ、青山女子學院教授塚本はま、女子大學教授井上秀、同大岡篤枝の四女史に囑して、今後家庭經濟を研究する世帶の會の樣なものを創立し日用品に對する智識の增進、購買方法の改良その他家庭經濟の一切方法設備に關する研究並びに改善指導に當てる計畫を立てた

●京都大火＝大丸商店全燒

京都大丸商店十七日拂曉火災起りて全燒せり尚右の火災にて株式取引所京都トラスト建築等も燒失し、目下建築中なる淺野畫夜銀行の葦簾張りも類燒したり

◆墨獨立祭參列任命

墨國駐剳公使代理伊藤敬一書記官は墨國獨立記念祭に日本を代表して列席祝賀の意を表すべき旨命せらる

◆海軍側代表も決定

海軍側の軍縮會議代表者は加藤寛治中將に決定したり、隨員として決定せし軍務局第一課長山梨勝之進大佐前華府駐剳上田良武大佐及び華府日本大使館附武官永野修身大佐に決定したり

◆陸軍側は菅野中將

華府會議の陸軍側代表者は歐米通を以て知らるゝ菅野尚一中將に決定したるが隨行員としては軍事調査局佐藤少將と内決せり、正副使は未だ決せず

東京電報、桑港通信（八月十八日）

大尉、少佐級の將校連中に▲不滿を爆發させこれ等の點を指摘して上司と議論し又意見書を出した爲最近首になつたのもある位で陸軍部内に於ても之等の若手將校は進んで材料を提出し入會し其改革を叫んでゐるといふ

●少壯政治團生る

△近衛公を會頭に

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rua dos Lavapés No. 236

Montenegro Yahrmann & Co. Ltd.
Escriptorio
Rua Cidade de Toledo, 12
Caixa Postal, 220
Machina e Armazem
Rua General Camara, 499
SANTOS

精米所
今般機械全部の修理を施し特に廻轉日は米の粉碎を防ぐため金剛砂層を取換へたれば一層の好果あるべし
日本人諸君の爲に日本人精米係りを二人常雇しあれば便利此上なし
照會其他に關しては
與那嶺仁五郎 Jingoro Yonamine
宛御通信ありたし

汽船代理店
弊社は北米大汽船會社『綠星線』の代理店にして同社は紐育及桑港を基點とし各國に定期航海船あり
紐育（基點）〜伊太利、佛蘭西、英國、獨逸、南米
桑港（基點）〜布哇、横濱、神戸、上海、香港、馬尼利、新嘉坡

封筒及び名刺印刷
上等封筒百枚　六ミルレース　送料五百レース
同　百枚一組　六ミルレース　送料五百レース（發信用（日本へ）五十枚　返信用（日本より）五十枚）
名刺百枚　六ミルレース以上　送料五百レース（和洋文兩面刷）
同　上　五ミルレース以上　送料五百レース（和洋片面刷）
其他の印刷物に就ては御來談又は手紙にて御照會を願ひます
伯刺西爾時報社
營業部
Caixa Postal H, S. PAULO

●統領ワシントン、ルイス氏イグアペ方面巡視

繁忙の爲め延び〳〵となつてゐた州統領ワシントン、ルイス氏のイグアペ方面巡視は愈々今週實行と決し本日早朝農務長官ペンテアード氏同伴サントスに下り特別列車にてジユキアに出でレヂストロ、シリリカ、イグアペ、カナヤア等巡廻せらるべき筈、又州上院議員バズア、サレス氏も出發の際は統領一行中の人なるも同氏の目的は主としてレヂストロ植民地視察にあるを以て途中別れて同植民地に直行他へ一切立寄らずして日曜日ジユキア經由特別汽車にて歸聖の豫定である

●聯盟裁判委員に ルイ氏選ばる

國際法學者たる北米前國務長官ルート氏を國際聯盟裁判委員に選擧の議はルート氏辭退したるに依り更に適當なる人を物色中の處伯國政界の元老にしてこれ亦國際法學者たるルイバルボーザ氏を推擧する事となりたる由十五日ゼチヴアより電報ありルイ氏は右の報を齎して訪問したるリオの新聞記者に對し『予の許には未だ公然の通知なきも若し推擧せらるれば喜んで承諾すべし』と答へたるが同日公式に通知ありたる由なりルイ氏は既に七十を超えたる老人にして鶴の如き痩軀の所有者なるも其元氣は尚壯者を凌ぐ程なりと尚日本側よりは岡氏（岡實博士？）選擧せられたりと

●ブエノス市會議員の 聖州來訪

伯國產業狀態視察の爲ブエノスアイレス市會より派遣せられ先週來リオを中心として各地視察中の同市會議員一行は十四日朝聖市到着パレス、ホテルに投宿少憩の後州政府及市會を訪問次いで各學校を參觀し夜は自動車倶樂部に市長主催の歡迎會に臨み十五日朝特別列車にてコンデ、ブラテス氏の農場を視察し午後七時歸聖したり、一行は今明日市内各工場を視察し明後日出發歸國の途に着く豫定なり因に一行はスピヲッチ、マンテコン、ヂオヴイノ、カスコ、メルブアン、ヴイラレアル及アゴテの七氏なり

●紀念博覽會

△獨逸と紀念博、獨逸機械類輸出業者は來年の伯國獨立百年祭紀念博覽會へ參加出品の勸誘を受け何れも贊同の意を表し此機を利用して大に獨逸製品の市場恢復を爲さん意氣込にて陳列館建築費陳列品輸送費等の負擔額決定次第直ちに之を前納して以て華々しきプロパガンダを爲すべく決定したりと

△伊政府の出品費支出、伊太利政府に於ては今期議會の開會を俟つて伯國紀念博參加に要する經費の支出を下院に請求すべく既に其豫算案の作製を終へたりと

●「伯國の獨立」

來年九月の獨立百年祭を機として出版の計畫なる文豪オイペイラ、リマ氏の『伯國の獨立』と題する著書は既に原稿出來上り聖市に到着せる由なるが此の書は紙數六百頁に達し聖市に於て出版すべき手筈なりと

●移民搭載の タコマ丸安着

七月二日移民を載せて神戸出帆の大阪商船『タコマ』丸は豫定より一日遲れて去る十一日午後三時サントス港に安着した、此の日はたま〳〵日曜日であつたので波止場着船は七時過になつたので移民の上陸は翌日の延びたが、十二日は幸ひに天氣具合も好く早朝から上陸及び荷卸しに取り掛つたので總てが好都合に運び移民一同は直ちに收容所に向つて出發し同船はブエノスに向け午後の四時に同港を解纜した、而して同船今回の航海に就て移民輸送監督守屋保吉氏の語る所を聞けば

▲『タコマ丸は七月二日に移民總勢百四十九名を載せて神戸を出帆しました、そして航路は既定の如く長崎香港、新嘉坡、コロンボ、ダーバン、ケープタウン、リオデジヤネイロを經て十一日の午後サントス港に着した譯でありますが、今回の航海は船長に聞いて見ても最も平穩の航海で移民一同に取つても洵に愉快な航海でありました

▲船中では氣の毒なことには二名の產婦が死兒を分娩した後が惡くて死亡しましたが其他は皆元氣で輸送監督の役目を申し付かつた私としては別段過ちもなく殊に船長始め船員一同が非常に親切にして呉れたので仕合せと存じて居ります云々

●山口通譯生出張

移民搭載船タコマ丸入港に關し總領事館よりは山口通譯生サントス出張十二日歸聖されたり

●八月の聖州移民

聖州移民收容所の發表する處に依れば八月中同收容所に到着したる移民數四、三九七人にして其國籍別は左の如し

獨逸人	五八八
伊國人	六八九
露國人	六四七
西班牙人	四四二
葡萄牙人	二一三
伯國人	七三五
他	八三
計	四、三九七

右の內露國人四百五十四人が農業不適移民として本國へ送還せられ七十八人の獨逸、露西亞、チエックスロバキア各國人が他州へ移り百七十四人の各國職工移民が市內に就働したるも私交に於ては親密なる友人なり

▲英佛伊は首相列席

英佛伊三國の委員は未だ發表せられたる電報なきも三國共首相たるロイド、ヂヨルヂ氏、ブリアン氏及ボノミ氏の出馬は既に決定したり、然れども華府會議は多分二ヶ月間を要すべしと

在留證明 手數料未納者に告ぐ

大正十年度徵集延期出願に要する在留證明手數料未納者並に不足額追納を要する向へは右至急納付に關し再三及通報置きたるも今尚ほ納付未濟者あり之れがため整理上非常に差支を生じ居るにより本月末日迄にサンパウロ郵便局に到着する樣當館宛送金ありたく萬一同日迄に納入せざる向に對しては不得已伯國內各帝國領事館へ夫々人名通知の上大正十一年度分より各館に於て一切在留證明書を發給せざることに致すべく此段豫めて通告す

大正十年八月　在サンパウロ　帝國總領事館

●支那人上陸禁止

十四日歐洲よりバラー州首都ベレンへ入港したる英船『アイダン』號の乘客支那人二十五名は英國より居住を禁ぜられて渡來したる者なるを以て同地官憲は彼等の上陸を禁止したるも旅券調べの結果佛國マルセイユ駐在伯國領事の査證ある事判明したるに依り最近便にて目的地たるアマゾナス州へ出發の條件にて漸く上陸を許可せられたりと

●新來移民 耕地へ向け出發

タコマ丸にて渡來十二日移民收容所に投宿せる百四十餘名の我が移民は一と先づ同所にて船中の疲勞を癒し十四日朝何れも大元氣にて珈琲耕地へ向け出發濟み

●うどん會

『うどん』會は近々歸國の途に就く橋本蒼氏の送別會を明日午後七時より上地旅館に於て催す旨幹事より各會員へ通知ありたる由

●ブラジル語講習錄賣捌き

本社出版のブラジル語講習錄の好評嘖々たるは茲に手前味噌を申し上る必要もないが近頃更に地方購求者の便宜を計らんが爲め『リベロンプレート』海外興業會社出張所の坂元氏と、『レヂストロ海外興業會社アルマゼン』とに賣捌きの手數を願ひ置きたれば其地最寄の方々にして御入用の場合は右取次所から御買ひ求めを願ます

●又しても邦人漁業者の 官憲騷ぜ

サントスに於ける邦人漁業者中鹿兒島縣人と廣島縣人との二派あつて常に軋轢の絕へぬは是までも屢々聞ける所なるが、近頃は鹿兒島派に加藤某として伯語の上手な者が加はつた勢か鹿兒島派が有頂天となり何れ其內には何か一と騷動の起きさうな雲合の所へ同じ縣人の今給黎矢市なる者去る十二日に漁船二艘を進水するとて多數の人々を集め船の中央高く▲日本國旗を掲揚せしは伯國に歸化出願中の者にも似合はぬ行爲なりと邦人側の事情を糺し其過ち當なる人を物色中の處伯國政界の元老にしてこれ亦國際法學者たるルイバルボーザ氏を推擧する事となりたる由十五日ゼチヴアより電報ありルイ氏は右の報を齎して訪問したるリオの新聞記者に對し『予の許には未だ公然の通知なきも若し推擧せらるれば喜んで承諾すべし』と答へたるが同日公式に通知ありたる由なりルイ氏は既に七十を超えたる老人にして鶴の如き痩軀の所有者なるも其元氣は尚壯者を凌ぐ程なりと尚日本側よりは岡氏（岡實博士？）選擧せられたりと

●ブエノス市會議員の 聖州來訪

伯國產業狀態視察の爲ブエノスアイレス市會より派遣せられ先週來リオを中心として各地視察中の同市會議員一行は十四日朝聖市到着パレス、ホテルに投宿少憩の後州政府及市會を訪問次いで各學校を參觀し夜は自動車倶樂部に市長主催の歡迎會に臨み十五日朝特別列車にてコンデ、ブラテス氏の農場を視察し午後七時歸聖したり、一行は今明日市內各工場を視察し明後日出發歸國の途に着く豫定なり因に一行はスピヲッチ、マンテコン、ヂオヴイノ、カスコ、メルブアン、ヴイラレアル及アゴテの七氏なり

●紀念博覽會

△獨逸と紀念博、獨逸機械類輸出業者は來年の伯國獨立百年祭紀念博覽會へ參加出品の勸誘を受け何れも贊同の意を表し此機を利用して大に獨逸製品の市場恢復を爲さん意氣込にて陳列館建築費陳列品輸送費等の負擔額決定次第直ちに之を前納して以て華々しきプロパガンダを爲すべく決定したりと

△伊政府の出品費支出、伊太利政府に於ては今期議會の開會を俟つて伯國紀念博參加に要する經費の支出を下院に請求すべく既に其豫算案の作製を終へたりと

●「伯國の獨立」

來年九月の獨立百年祭を機として出版の計畫なる文豪オイペイラ、リマ氏の『伯國の獨立』と題する著書は既に原稿出來上り聖市に到着せる由なるが此の書は紙數六百頁に達し聖市に於て出版すべき手筈なりと

●移民搭載の タコマ丸安着

七月二日移民を載せて神戸出帆の大阪商船『タコマ』丸は豫定より一日遲れて去る十一日午後三時サントス港に安着した、此の日はたま〳〵日曜日であつたので波止場着船は七時過になつたので移民の上陸は翌日の延びたが、十二日は幸ひに天氣具合も好く早朝から上陸及び荷卸しに取り掛つたので總てが好都合に運び移民一同は直ちに收容所に向つて出發し同船はブエノスに向け午後の四時に同港を解纜した、而して同船今回の航海に就て移民輸送監督守屋保吉氏の語る所を聞けば

▲『タコマ丸は七月二日に移民總勢百四十九名を載せて神戸を出帆しました、そして航路は既定の如く長崎香港、新嘉坡、コロンボ、ダーバン、ケープタウン、リオデジヤネイロを經て十一日の午後サントス港に着した譯でありますが、今回の航海は船長に聞いて見ても最も平穩の航海で移民一同に取つても洵に愉快な航海でありました

▲船中では氣の毒なことには二名の產婦が死兒を分娩した後が惡くて死亡しましたが其他は皆元氣で輸送監督の役目を申し付かつた私としては別段過ちもなく殊に船長始め船員一同が非常に親切にして呉れたので仕合せと存じて居ります云々

●山口通譯生出張

移民搭載船タコマ丸入港に關し總領事館よりは山口通譯生サントス出張十二日歸聖されたり

●八月の聖州移民

聖州移民收容所の發表する處に依れば八月中同收容所に到着したる移民數四、三九七人にして其國籍別は左の如し

獨逸人	五八八
伊國人	六八九
露國人	六四七
西班牙人	四四二
葡萄牙人	二一三
伯國人	七三五
他	八三
計	四、三九七

右の內露國人四百五十四人が農業不適移民として本國へ送還せられ七十八人の獨逸、露西亞、チエックスロバキア各國人が他州へ移り百七十四人の各國職工移民が市內に就働したるも私交に於ては親密なる友人なり

▲英佛伊は首相列席

英佛伊三國の委員は未だ發表せられたる電報なきも三國共首相たるロイド、ヂヨルヂ氏、ブリアン氏及ボノミ氏の出馬は既に決定したり、然れども華府會議は多分二ヶ月間を要すべしと

在留證明 手數料未納者に告ぐ

大正十年度徵集延期出願に要する在留證明手數料未納者並に不足額追納を要する向へは右至急納付に關し再三及通報置きたるも今尚ほ納付未濟者あり之れがため整理上非常に差支を生じ居るにより本月末日迄にサンパウロ郵便局に到着する樣當館宛送金ありたく萬一同日迄に納入せざる向に對しては不得已伯國內各帝國領事館へ夫々人名通知の上大正十一年度分より各館に於て一切在留證明書を發給せざることに致すべく此段豫めて通告す

大正十年八月　在サンパウロ　帝國總領事館

●支那人上陸禁止

十四日歐洲よりバラー州首都ベレンへ入港したる英船『アイダン』號の乘客支那人二十五名は英國より居住を禁ぜられて渡來したる者なるを以て同地官憲は彼等の上陸を禁止したるも旅券調べの結果佛國マルセイユ駐在伯國領事の査證ある事判明したるに依り最近便にて目的地たるアマゾナス州へ出發の條件にて漸く上陸を許可せられたりと

●新來移民 耕地へ向け出發

タコマ丸にて渡來十二日移民收容所に投宿せる百四十餘名の我が移民は一と先づ同所にて船中の疲勞を癒し十四日朝何れも大元氣にて珈琲耕地へ向け出發濟み

●うどん會

『うどん』會は近々歸國の途に就く橋本蒼氏の送別會を明日午後七時より上地旅館に於て催す旨幹事より各會員へ通知ありたる由

●ブラジル語講習錄賣捌き

本社出版のブラジル語講習錄の好評嘖々たるは茲に手前味噌を申し上る必要もないが近頃更に地方購求者の便宜を計らんが爲め『リベロンプレート』海外興業會社出張所の坂元氏と、『レヂストロ海外興業會社アルマゼン』とに賣捌きの手數を願ひ置きたれば其地最寄の方々にして御入用の場合は右取次所から御買ひ求めを願ます

●又しても邦人漁業者の 官憲騷ぜ

サントスに於ける邦人漁業者中鹿兒島縣人と廣島縣人との二派あつて常に軋轢の絕へぬは是までも屢々聞ける所なるが、近頃は鹿兒島派に加藤某として伯語の上手な者が加はつた勢か鹿兒島派が有頂天となり何れ其內には何か一と騷動の起きさうな雲合の所へ同じ縣人の今給黎矢市なる者去る十二日に漁船二艘を進水するとて多數の人々を集め船の中央高く▲日本國旗を掲揚せしは伯國に歸化出願中の者にも似合はぬ行爲なりと邦人側の事情を糺し其過ち當なる人を物色中の處伯國政界の元老にしてこれ亦國際法學者たるルイバルボーザ氏を推擧する事となりたる由十五日ゼチヴアより電報ありルイ氏は右の報を齎して訪問したるリオの新聞記者に對し『予の許には未だ公然の通知なきも若し推擧せらるれば喜んで承諾すべし』と答へたるが同日公式に通知ありたる由なりルイ氏は既に七十を超えたる老人にして鶴の如き痩軀の所有者なるも其元氣は尚壯者を凌ぐ程なりと尚日本側よりは岡氏（岡實博士？）選擧せられたりと

●ブエノス市會議員の 聖州來訪

伯國產業狀態視察の爲ブエノスアイレス市會より派遣せられ先週來リオを中心として各地視察中の同市會議員一行は十四日朝聖市到着パレス、ホテルに投宿少憩の後州政府及市會を訪問次いで各學校を參觀し夜は自動車倶樂部に市長主催の歡迎會に臨み十五日朝特別列車にてコンデ、ブラテス氏の農場を視察し午後七時歸聖したり、一行は今明日市內各工場を視察し明後日出發歸國の途に着く豫定なり因に一行はスピヲッチ、マンテコン、ヂオヴイノ、カスコ、メルブアン、ヴイラレアル及アゴテの七氏なり

●紀念博覽會

△獨逸と紀念博、獨逸機械類輸出業者は來年の伯國獨立百年祭紀念博覽會へ參加出品の勸誘を受け何れも贊同の意を表し此機を利用して大に獨逸製品の市場恢復を爲さん意氣込にて陳列館建築費陳列品輸送費等の負擔額決定次第直ちに之を前納して以て華々しきプロパガンダを爲すべく決定したりと

△伊政府の出品費支出、伊太利政府に於ては今期議會の開會を俟つて伯國紀念博參加に要する經費の支出を下院に請求すべく既に其豫算案の作製を終へたりと

●「伯國の獨立」

來年九月の獨立百年祭を機として出版の計畫なる文豪オイペイラ、リマ氏の『伯國の獨立』と題する著書は既に原稿出來上り聖市に到着せる由なるが此の書は紙數六百頁に達し聖市に於て出版すべき手筈なりと

●移民搭載の タコマ丸安着

七月二日移民を載せて神戸出帆の大阪商船『タコマ』丸は豫定より一日遲れて去る十一日午後三時サントス港に安着した、此の日はたま〳〵日曜日であつたので波止場着船は七時過になつたので移民の上陸は翌日の延びたが、十二日は幸ひに天氣具合も好く早朝から上陸及び荷卸しに取り掛つたので總てが好都合に運び移民一同は直ちに收容所に向つて出發し同船はブエノスに向け午後の四時に同港を解纜した、而して同船今回の航海に就て移民輸送監督守屋保吉氏の語る所を聞けば

▲『タコマ丸は七月二日に移民總勢百四十九名を載せて神戸を出帆しました、そして航路は既定の如く長崎香港、新嘉坡、コロンボ、ダーバン、ケープタウン、リオデジヤネイロを經て十一日の午後サントス港に着した譯でありますが、今回の航海は船長に聞いて見ても最も平穩の航海で移民一同に取つても洵に愉快な航海でありました

▲船中では氣の毒なことには二名の產婦が死兒を分娩した後が惡くて死亡しましたが其他は皆元氣で輸送監督の役目を申し付かつた私としては別段過ちもなく殊に船長始め船員一同が非常に親切にして呉れたので仕合せと存じて居ります云々

●山口通譯生出張

移民搭載船タコマ丸入港に關し總領事館よりは山口通譯生サントス出張十二日歸聖されたり

●八月の聖州移民

聖州移民收容所の發表する處に依れば八月中同收容所に到着したる移民數四、三九七人にして其國籍別は左の如し

獨逸人	五八八
伊國人	六八九
露國人	六四七
西班牙人	四四二
葡萄牙人	二一三
伯國人	七三五
他	八三
計	四、三九七

右の內露國人四百五十四人が農業不適移民として本國へ送還せられ七十八人の獨逸、露西亞、チエックスロバキア各國人が他州へ移り百七十四人の各國職工移民が市內に就働したるも私交に於ては親密なる友人なり

▲英佛伊は首相列席

英佛伊三國の委員は未だ發表せられたる電報なきも三國共首相たるロイド、ヂヨルヂ氏、ブリアン氏及ボノミ氏の出馬は既に決定したり、然れども華府會議は多分二ヶ月間を要すべしと

在留證明 手數料未納者に告ぐ

大正十年度徵集延期出願に要する在留證明手數料未納者並に不足額追納を要する向へは右至急納付に關し再三及通報置きたるも今尚ほ納付未濟者あり之れがため整理上非常に差支を生じ居るにより本月末日迄にサンパウロ郵便局に到着する樣當館宛送金ありたく萬一同日迄に納入せざる向に對しては不得已伯國內各帝國領事館へ夫々人名通知の上大正十一年度分より各館に於て一切在留證明書を發給せざることに致すべく此段豫めて通告す

大正十年八月　在サンパウロ　帝國總領事館

●支那人上陸禁止

十四日歐洲よりバラー州首都ベレンへ入港したる英船『アイダン』號の乘客支那人二十五名は英國より居住を禁ぜられて渡來したる者なるを以て同地官憲は彼等の上陸を禁止したるも旅券調べの結果佛國マルセイユ駐在伯國領事の査證ある事判明したるに依り最近便にて目的地たるアマゾナス州へ出發の條件にて漸く上陸を許可せられたりと

●新來移民 耕地へ向け出發

タコマ丸にて渡來十二日移民收容所に投宿せる百四十餘名の我が移民は一と先づ同所にて船中の疲勞を癒し十四日朝何れも大元氣にて珈琲耕地へ向け出發濟み

●うどん會

『うどん』會は近々歸國の途に就く橋本蒼氏の送別會を明日午後七時より上地旅館に於て催す旨幹事より各會員へ通知ありたる由

●ブラジル語講習錄賣捌き

本社出版のブラジル語講習錄の好評嘖々たるは茲に手前味噌を申し上る必要もないが近頃更に地方購求者の便宜を計らんが爲め『リベロンプレート』海外興業會社出張所の坂元氏と、『レヂストロ海外興業會社アルマゼン』とに賣捌きの手數を願ひ置きたれば其地最寄の方々にして御入用の場合は右取次所から御買ひ求めを願ます

人事來往

▲八日　藤崎商會店員武石潛藏氏は鈴木正雄氏に代りて當地詰となりリオより來聖▲ブエノス市藤松組店員橋繁三氏『かなだ』丸にて歸國の途次見物の爲サントスより來聖十日サントス出帆▲九日　サントス碇泊中の大阪商船會社汽船『かなだ』丸船長赤城三千機關長長沼丈夫船醫渡邊善作の三氏見物の爲來聖同日歸船▲十一日　滯聖中の福川薩然氏用務を終へてコンキスタへ歸途に就く▲十二日　先週來聖の江越信胤氏は今朝アニューマス農場へ歸る▲十四日　小林弘一郎氏ソロカバナ線イタラレー地方を測量に赴く

CASA ALOISE
ALFAIATARIA
Rua Liberdade, 53
Telephone Central, 3844

開店廣告

今般上記の處に開店し日本人各位には特に廉價に新流行型男女服調製可申上候

カザ、アロイゼ

Dr. Crespianiano Martim Sigueira
Faz. Villa Maria
Est. Iracema (Mogyana)

珈琲園コロノ募集

（一）手入賃　一ケ年二百ミルレース也
（二）採集賃　百立に對し一ミル二百レース
（三）日傭賃　一日三ミルレース也
（四）間作　雨期豆二列を一つ置き畝毎に、（ミリヨ）一筋を一つ置き畝毎に、一つ置き畝毎に、米は新珈琲內に二列宛一つ置き畝毎に
（五）支拂　毎月現金を以てす
（六）來耕者　拂の爲め一家族に對し五十ミルレースを給す
（七）驛より　二里半（日本里程）

希望の方は上記若くは左記に御問合せ被下度候

海外興業株式會社伯國支店
リベロンプレート出張所

Garage Normal
Tel. Cidade, 56
Praça da Republica No. 43

◆迅速、叮嚀、勉強
貸自動車業
◆御引立を乞ふ

原村喜之助
林岩松
岩本秀雄
東美代平
川野一內
中村末熊

Salvador Correa de Toledo
Rua Direita No. 8-A, 2° andar-sala, 5
Tel. Central, 5765—S. Paulo

廣告

家屋、土地、耕地、株券の賣買、株券、家屋、土地抵當の資金融通、家賃及貸金取立の請負珈琲、棉、雜穀、材木の委託販賣

日本人諸君には特に御便利を圖ります

日本人諸君に對しては特に懇切に一切の法律事務の御相談に應じます

辯護士　ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース
事務所　總領事館同建物四階十四號室
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
Largo da Sé No. 3, 3°. andar
Sala 14　S. Paulo

下男入用

當市在住英人（葡語を解す）宅に日本人下男一名入用希望の方は左記に申込まれたし條件等は相談の上定む

大正十年九月一日
海外興業株式會社伯國支店
リベロンプレート出張所

大石内藏之助

三十四

半井桃水

「是非なくお暇願ひ奉り、生國をさして參る途中、思ひ掛けない此の回の御凶變、風の便りに承はれば、御家中一同城を枕に、討死をせらるゝとの事、三郎兵衛も一命を抛つて、泉下のおん供が致したさ、早速引返して御座ります」

「さて〳〵、御篤志な事」内藏之助感心致した、「さりながら此の回は、お城も異議なく明渡し、殉死も思止まつて御座る」

「唯今當地へ着致し、お城明渡しの儀も、略ぼ承はつて御座りまするが、よも此の儘では相濟みますまい何によらず亡君のおん爲め、思召置の事も御座りますれば、三郎兵衛が一命御用にお立て下さりませう」

「我君のお成行き口惜しい儀では御座るが、御一類様方より、御入念のお諭しもあり、若し騒動がましい事を致す時は、御一族へのお祟りも、計られぬと申すので、殉死も思止まつた次第、況して足下は凶變以前お暇を願はれた身の上、御當家の事は思切り、矢張り生國へ引取りめさるが、宜しからうと存じ申す」

「私、お暇を願ひましたも、御主君を見限つてと、申すでは御座りませぬ、安井藤井兩御家老のお諭しにより、一たびお暇は願ひましても、萬一私命の中に、御當家御大事と申すやうなことも御座りますれば眞魁に驅附けて、思ふさま忠節を盡し、我君の思召に、副ひたいと存じ詰め、二君に仕へる心などは、つゆ聊かも御座りませぬ、一旦お暇を願ひました私、今度の御用に相立ぬと申すこなら、速かに腹かつさばき、冥土黄泉のおん供仕るで御座りませう。今更返へらぬ事ながら、私江戸表發足が四五日遲れて居りませうなら、我が君の御先途見屆け奉り、その塲を去らず殉死を遂げて、御供致しませうものを思へば思へば殘念至極」と悲憤の涙にかきくれた。

「マ、左様焦心たものでは御座らぬ其の中には御舍弟大學様をもつて、淺野家のお跡目も、相立つやうになるで御座らう、今捨てる命を生存へ後日忠義を勵まれた事なら、亡君尊靈も如何ばかりか、御滿足に御召されう」

「アイヤ、假令大學様何程御立身なされませうとも、三郎兵衛は御奉公致す所存御座りませぬ」

「夫はまた何故あつて」

「我君には大學様と、兩三年以來至つて御不和、此の頃は義絶同様に遊ばされた事を私は心得居ります」

「すりや何あつても我君のおん爲め命捨たいと言はるゝのか」

「仰せの通りに御座ります」

「然る上は拙者から、申談ずる仔細も御座る、暫時當地へお留まり下されう」

「何事にまれお指圖次第畏まります」と牢として拔くべからざる、三郎兵衛が決心を見て、内藏之助は深く感じ、遂に一味連判の中に加へた。

三郎兵衛が勇立て、欣然別れを告げた時は、早戌刻に間もなかつた。

「サ、少しも早く御寢なりませう偶さかお歸りなされましても、朝からお晩までお客續き、お疲れも左こそお察し申上げまする」と、孫左衛門は主人の身の上いとゞ心配さうに見える。

内藏之助はにつこと笑つて、「孫左衛門心配致すな、一國一城の滅びる際ぢや、まだ〳〵是から十日や二十日は、枕を着けて寢られまいが、數代高祿をたまはつた、主家へ對して御奉公の仕納め、これしきの事は當然ぢや、主税はもう就寢だか」

「イエ、まだ御寢なりませぬ」

「太儀ながら汝は今より、不破數右衛門の見送りとして、町端れまで行かねばならぬ」

「畏まつて御座ります」

「然らば急いで支度致せ」

「夫には何か御口上でも」

「委細は主税に申付ける」

「若旦那様を是へお呼び申上げませうか」

「ム、此處へ參るやう申して置いて汝は支度致して好からう」

孫左衛門が立去るや否や、主税は直に此へ來た。

「父上、菅谷半之丞殿が參られましたが、如何計らひませう」

「半之丞か、ム、對面致さう、是へと申せ」

主税が立去らうとするのを呼留め

「汝には用がある、別儀でもないが短慮無骨の不破數右衛門、好く〳〵申聞けては置いたが、誠心を改めて誓言を守り居るか、篤と試して見たいのぢや、汝は孫左衛門を召連れて町はづれまで送つて行き、しかと心底を試みい、好いか」

「心得まして御座ります」と主税は再び主家へ去つた。

「菅谷半之丞で御座ります」

「珍らしや菅谷氏、度々お尋ね下されたさうなが、御凶變以來、御城内へ詰切り、何かと多用で御座つたゆゑ、對面申す事も叶はず、やう〳〵昨日退出致した」

「一方ならぬ御配勢、唯々恐察申上げます」と漲る涙拂ひも敢ず、半之丞は平伏した。

「絶えて久しうお目に掛らぬ、もう何年に相成らうかな」

「御當地を立退きまして、早二十三年に相成ります」

「ハア、二昔を越えて御座るか、いかさま其の頃迄は、お互に壯かつたの」

「私十九歳に御座りました」

「拙者は江戸在番中、足下が他國致された事を、風の便りに承はつたして今までは何れに御座つた」

「江戸は芝に住居致して、浪人の餬口に、手跡指南を仕り、此の歲月を過しました」

「して此の回は何用あつて、當地へお越しめされたな」

「我君の御厚恩、いつか報い奉りたいと存じ二十三年の永の月日、樂しみました甲斐もなう、此の回の御凶變、當御城下に於ましては、必定何等かの思召立もある事と心得、江戸の住居を取片附て、はるばる當地へ驅附けました心底、御賢察下さりませう、江戸在住の中、御入懇に致しましたは、堀部彌兵衛御父子、此度私御當地へ參るにつき、彌兵衛殿よりの御書翰、先づ御披見下されますやう」と差出した一通、

婦人欄

●赤ん坊の身體教育

きよ子

◆是から夏の季節に入らうとするお天氣の好い暑い日に、私が三年前に此の國で知り合ひになつたお友達を訪ねやうと思つて、聖市にほど遠からぬ薯耕作地に出掛けて見ました。所が其處は恰度薯の採收期が來たと云ふので、家族は勿論臨時雇ひまでも入れて收穫眞最中大多忙の際でありましたが、乳呑兒はと云へば小さな箱の中に厚々した小蒲團に包まれて、聲を限り張り上げて泣いてゐるのを見受けました。

◆一體我邦の習慣としまして、赤ん坊は身體全部を蒲團や毛布で包んで之を搖籃の中に入れるか、又は紐でぐる〳〵卷をして一箇の荷物扱ひにするのでありますが、悉うすれば取扱ひ上便利であるには相違なくも、赤ん坊の自由運動を妨ぐること多大で、殊に伯國の如く熱帶地に於いては此の小蒲團包は全く赤ん坊の體質を軟弱ならしむる第一のものでありますから、如何に仕事が忙がしくとも赤ん坊の納豆包は洵に困つたものだと思ひました。

◆尚一つ其日に見たことで大に間違つてゐると思ひましたのは、赤ん坊を背に負ふ事であります、赤ん坊を強壯ならしむるには、赤ん坊の運動を束縛せぬことにありますから、背負つて居れば母は如何に仕事に便利だとしましても、最愛の小供を脊柱の前彎を惹き起してまで背負ふと云ふことは斷じて愼しまねばならぬことでありますし、其れに伯國の如く赤ん坊を背負ふことを野蠻人の樣に思ふ國に於ては、殊更ら注意して此の有害な日本流の惡習慣を露出しないやうにするが最も大切だと思ひました。

◆悉う申しますと働き主義一遍の方が、やれ日本の惡習慣だとか、納豆包だとか云つても、お互は皆な其様に育てられて成長して來たものだから、何もさう怖くついて舊慣を改むる必要もないと云はるゝかも知れませんが、惡いことは何うしても惡く、間違つたことは何うしても間違つて居るのでありますから、知らぬ前きは仕方なしとしても、知つた今日では之を改むるが賢い遣り方だと思ひます。

◆夫れに改むると云つても、右の様なことは左まで手數のかゝるものでも面倒なことでもなく、即ち厚着を薄着に換へ、小蒲團包を薄布切れに改め、背負ふ代りに臥かす習慣を附ければ宜いのでありますから、赤ん坊を有たる母親は日本と伯國との氣候及び習慣の異なるを理解すると共に、赤ん坊を育つる身體教育の進歩に意を留めて、間違つた且つ有害な古い習慣から脱して、新たな有利の教育法に就いて欲しいのであります。

●購讀料御催促

各位益々御清祥奉大賀候陳ば弊社今般事務整理の都合上購讀料未納者並に前金切者に對し此際大至急料金御拂込願度候間甚だ御手數には候得共右事情御諒察の上御送金被成下度願上候

▲購讀料率

壹ケ月　壹ミル五百レース
六ケ月　九ミルレース
壹ケ年　拾八ミルレース

但し前金に限り▲六ケ月八ミルレース▲壹ケ年拾五ミルレースに割引致候

▲外に外國送りは壹ケ年前金二十ミルレースに候間續々御注文被下度候
▲新購讀は前金に非ざれば取扱不申候間御注文の際は必ず料金を添へ御申込み被下度候

伯剌西爾時報社
NOTICIAS DO BRAZIL
Caixa Postal, H
S. PAULO

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

キリトリテ、テガミノ、オモテニ、ハラルベシ

横濱正金銀行支店

リオ、デ、ジャネイロ

郷里送金

一、日本金に引直相場は當分伯貨四ミル一百レースにつき日本金壹圓
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ送り屆け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

預金

日本貨定期預金利息	六ケ月以上	年五分二厘
伯貨定期預金利息	六ケ月以上	年五分五厘
	壹ケ年以上	年六分
伯貨當座預金（小口）		年四分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA : OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社定期船

●タコマ丸

十月十日ブエノス、アイレスよりサントス入港十六日出帆リオ寄港荷役濟次第北米經由日本へ向ふ

御用の方は左記へ御照會ありたし

アンツーネス、ドス、サントス會社
(Caixa Postal, 237)
Rua Jose Bonifacio 17, S. Paulo